

愛知県立芸術大学 大学院

音楽研究科 博士前期課程 学生募集要項

平成
31
年度入学用

音楽研究科 博士前期課程

出願期間：平成30年8月23日～平成30年8月30日 午後5時必着

試験日程：平成30年10月13日、14日

合格発表：平成30年10月23日(最終合格発表) 午前11時

入学手続：平成30年12月20日 午前10時から午後1時まで

愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

◎求める学生像

- ・音楽芸術における高度な知識・技能・表現力・応用力をもつ人
- ・自発的に社会の需要を掘り起こす意識を持っている人
- ・学際的研究能力と国際的な感覚を持ち合わせた人

◎入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽芸術の高度な専門能力
- ・音楽芸術に関する理論知識
- ・語学力と国際的感覚

◎入学者選抜の基本方針

提出作品（作曲領域）、実技試験、研究計画書、口述試験、外国語、西洋音楽史（論述形式）などの試験結果を統合して選抜します。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

◎ディプロマ・ポリシー達成のための教育課程の編成方針

学部で習得した音楽一般および専門能力を土台とし、さらに高度な専門性を身につけ自らが開拓していく力を養うことを目指しています。

◎具体的なカリキュラム構成と特徴

年度ごとに研究計画を立て、学部で培った作曲、研究、演奏能力を深化させるとともに学際的研究能力を身につけることで、音楽研究を高度に発展させる力を養います。単一専攻制であるため、各専門分野を深める授業のみならず、他領域の授業や、教養教育、或いは美術研究科との連携も含めた複合領域による授業など、領域横断的な研究を行うことが可能となっています。博士後期課程への研究の継続性を図るため、創作・演奏領域の学生の修了論文（一部選択）の指導も行います。

◎教育課程の評価方針・方法

学生個々の研究計画書と研究報告書をもとに研究状況を総合的に評価します。

■修了認定・修士授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

◎人材育成目標

高度な専門性と幅広い知識、旺盛な国際感覚をモットーに、現代社会における真の音楽芸術のプロとしての能力を身につけ、国際的な視野を持って芸術文化の発展に寄与できる人材を育成することを目指しています。

◎修了までに身につけるべき資質・能力

- ・音楽芸術の専門家としての高い表現能力
- ・学際的な研究方法と専門的な知識
- ・自らの才能と技術を生かして社会の需要を作り出す力
- ・領域の枠を超えた学修によって得た広い視野と応用力、国際感覚

◎学位授与の方針・評価方法

- ・領域により「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」等の審査及び最終試験に合格したものを修了と認め、修士（音楽）の学位を授与します。
- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」及び最終試験等を審査し総合的に評価します。

目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類	3
5. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	4
6. 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先	4
7. 選抜方法	4
8. 試験日程及び試験科目	5
9. 合格発表	5
10. 入学手続	6
11. 授業料	6
12. 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について	6
13. 入試結果の開示	7
14. 平成 30 年度入学試験実施状況	7
15. 教員組織（平成 30 年 4 月 1 日現在）	8
■実技試験内容及び課題曲	10
■（参考）平成 30 年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題	15
■様式集	
・ 入学願書	
・ 入学検定料納付証明書貼付欄／受験者写真票／受験票	
・ 研究計画書 表紙（音楽学領域）	
・ 研究計画書 表紙（音楽学領域以外）	
・ 入学検定料振込用紙	

平成 31 年度愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科博士前期課程学生募集要項

1 募 集 人 員

		領 域	募集人員
音 楽 研 究 科	音 楽 専 攻	作曲	30 名
		音楽学	
		声乐	
		鍵盤楽器（ピアノ）	
		弦楽器	
		管楽器	
		打楽器	

2 出 願 資 格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号） ※ 1
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達したもの ※ 2

※ 1 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。

※ 2 出願資格(9)により出願しようとする者は、必ず平成 30 年 7 月 3 日（火）までに入試課に申し出て、平成 30 年 7 月 17 日（火）までに出願資格審査申請書を提出してください。

3 出 願 手 続

(1) 出願期間

平成30年8月23日(木)から8月30日(木)まで

最終日の午後5時までに郵便で必着とします。ただし、8月30日(木)午後5時以降に到着したものは、8月29日(水)までの消印があり、かつ、簡易書留(書留可)速達郵便に限り受理します。

(2) 出願方法

出願書類を本学所定の出願用封筒を用い「簡易書留郵便(書留可)」により郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。郵便事情を考慮して早めに郵送してください。

出願用封筒の表に必要事項を記入し、志望する領域名に○をつけてください。

4 出 願 書 類

(1)～(5)及び出願用封筒は、本募集要項巻末の様式及び本学所定の封筒を用いてください。

(1) 入学願書

様式に必要事項を記入してください。願書に記入する氏名と成績証明書等に記載された氏名とが異なる場合は、氏名変更の経緯が確認できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。

(2) 入学検定料納付証明書貼付欄・受験者写真票・受験票

それぞれ、氏名、志望領域を記入してください。受験者写真票には、写真1枚(縦4cm×横3cm、正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。写真の裏面に氏名、志望領域名を記入してください。

(3) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

イ 「ご依頼人」欄は受験者本人の氏名を記入してください。

ウ 入学検定料の納入は、振込依頼書により必ず**金融機関の窓口**で行ってください。

ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。

エ 振込手数料は、各自ご負担ください。

オ 検定料納付証明書は、入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

(4) 研究計画書

音楽学領域以外の志願者は、1,200字程度の研究計画書を所定の様式で提出してください。

音楽学領域の志願者は、10ページ「Ⅱ. 音楽学領域の研究計画書」を参照のうえ、所定の期間内に提出してください。

その他、詳細については、巻末の研究計画書表紙の記載事項を参照してください。

(5) 返信用封筒(受験票等送付用)

受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、**速達郵便料分(362円)の切手**を貼付してください。

(6) 出身大学の成績証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(7) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(注) 学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位証の写し、授与見込の者については学位授与機構による授与申請を受理した証明書(学位授与申請受理証明書)を提出してください。

(8) その他

- ア 納付された入学検定料は、返還しません。
- イ 提出書類の不備のものは、受理しません。
- ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- エ 受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。
- オ 外国人留学生は、各出願書類の日本語訳を添付してください。
- カ 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
- キ 受験票は、平成30年9月4日（火）以降に送付します。9月7日（金）までに届かなかった場合、入試課までお問合せください。

5 障がい有する等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障がい有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

- (1) 申し出の時期
平成30年7月31日(火)まで
- (2) 申し出の方法
次の事項を記載し、入試課まで書面で申し出てください。
①志望領域 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項
なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。
- (3) 相談の時期
平成30年8月9日(木)まで
- (4) 相談の方法
相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課
電話 0561-76-2603（直通） （照会時間は平日午前9時から午後5時まで）

7 選抜方法

入学者の選考は、以下のとおり行います。

第一次選考 実技試験等（作品審査含む）の成績による判定
最終選考 第一次選考の結果、学力検査及び面接試験の結果を総合した判定
試験場 本学

- (1) 評価基準
本学大学院音楽研究科で、研究を深めるために必要な実技の能力と学力を問います。
- (2) 判定基準
専門領域の能力を重視し総合的に判断します。

8 試験日程及び試験科目

領域		音 楽 学	作 曲	声 楽	鍵盤楽器	弦 楽 器	管楽器	打楽器
年月日								
平成 30 年 10 月 13 日 (土)	第 一 次 選 考 ※ 1	研究計画に基づく 口述試験 13:00～	提出作品を 中心とした 口述試験 13:00～	実 技 10:00～	実 技 9:30～	実 技 10:00～		実 技 13:00～
10 月 14 日 (日) ※ 2	最 終 選 考	第一次選考合格発表 8:00 場所：本学管理棟で掲示及び WEB サイト掲載 (※ 2・3)						
		外国語 (英、独、 仏、伊から 1ヶ国 語) 10:00～11:30	西洋音楽史 9:30～10:30					
			外国語 (英、独、仏、伊から 1ヶ国語) 11:00～12:00					
		西洋音楽史 12:30～14:00		面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～		面接試験 13:00～
10 月 23 日 (火)		最終合格発表 11:00 場所：本学管理棟で掲示及び WEB サイト掲載 (※ 3)						

※ 1 実技試験内容及び課題曲については 10～14 ページ「実技試験内容及び課題曲」を参照してください。

※ 2 最終選考は、第一次選考合格者のみ受験することができます。

※ 3 入試情報提供専用サイト <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

入試情報提供専用サイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

〔注意事項〕

- ・音楽学領域以外の外国語については、辞書の持込みを 1 冊のみ許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。
- ・音楽学領域の外国語については、辞書の持ち込みは不可とします。
- ・遅刻した場合、受験できないことがありますので注意してください。

9 合格発表

(1) 日 時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 午前 11 時

(2) 場 所 本学管理棟で掲示します。

(電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。)

※合格者には、合格通知書及び入学手続要領 (『入学ガイド』) を郵送します。

※本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

愛知芸大 合格発表

検索

入試情報提供専用サイト <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

(3) 追加合格 定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行う場合があります。追加合格実施の有無は、平成 30 年 12 月 20 日 (木) 午後 5 時に入試情報提供専用サイトにて発表します。

10 入 学 手 続

- (1) 手続日
平成 30 年 12 月 20 日（木） 午前 10 時～午後 1 時
- (2) 場 所
本学管理棟
- (3) 入学料及び保険料
284,430 円
(内訳) ・入学料 282,000 円
・学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 2,430 円
ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料は改定されることがあります。
イ 納付された入学料は返還しません。
- (4) 入学料及び保険料の振込にあたってのお願い
ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と、入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
イ 入学料及び保険料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。
ウ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**合格者本人の氏名**を記入してください。
- (5) 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

11 授 業 料

年額 535,800 円（前期・後期各 267,900 円。前期分は 4 月、後期分は 10 月に納入します。）

- (1) 授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、授業料は改定されることがあります。
- (2) 平成 31 年度前期授業料振込依頼書は、平成 31 年 4 月に発送します。

12 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

(1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学試験前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学試験前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成 30 年 8 月 9 日（木）
-------	--------------------

(2) 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せってください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成 30 年 12 月 6 日（木）
-------	---------------------

(3) 授業料の免除

○日本人学生

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

なお、要件は改定されることがあります。

- ①生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ②申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- ③申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- ④上記①、②、③以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細、質問等は下記問合せ先にご連絡ください。

(4) 免除制度の問合せ先

学務部学務課 学生支援・国際連携係 電話 0561-76-2843 (直通)

13 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、音楽研究科入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 開示請求できる範囲 | 科目別得点、領域別実技試験ランク、面接試験のランク。 |
| (2) 開示できる期間 | 最終合格発表日から1か月間（～平成30年11月22日(木)）
午前9時から午後5時まで。ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。 |
| (3) 開示請求の受付を行う場所 | 本学管理棟3階 芸大総務課 |
| (4) 開示の方法 | 本人部分のみ閲覧。 |
| (5) 開示請求に必要な書類 | 受験票と、身分証明書（学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等） |
| (6) 開示請求方法 | 受験者本人が、口頭で本学芸大総務課に申し出てください。 |
| (7) その他 | 電話、E-mail等による成績の開示はいたしません。 |
| (8) 開示に関する問い合わせ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2492 (直通) |

14 平成30年度入学試験実施状況

	領域	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学 辞退者数
音 楽 研 究 科	作曲	30	4	4	4	4	0
	音楽学		4	3	3	3	0
	声乐		17	17	7	6	1
	鍵盤楽器		16	16	8	7	1
	弦楽器		7	6	5	5	0
	管楽器		5	5	3	3	0
	打楽器		1	1	1	1	0
	計		30	54	52	31	29

15 教 員 組 織 (平成30年4月1日現在)

学 長	白木 彰				
副 学 長	戸山 俊樹				
音楽研究科長	福本 泰之				
客 員 教 授	鍵 盤 楽 器	エフゲニー・ザラフィアンツ (ピアノ)			
	オーケストラ	松尾 葉子			
		尾高 忠明			
客 員 教 授 (短期招聘)	音 楽 学	マルク・バティエ			
	弦 楽 器	大槻 カール 晃士			
作 曲	教 授	久留 智之	教 授	小林 聡	
	教 授	山本 裕之	准 教 授	成本 理香	
音楽学	教 授	井上 さつき	教 授	安原 雅之	
	教 授	東谷 護			
声 楽	教 授	戸山 俊樹 (バス) ○	教 授	末吉 利行 (バリトン) ○	
	教 授	中巻 寛子 (メゾ・ソプラノ)	教 授	森川 栄子 (ソプラノ)	
	准 教 授	川島 幸子 (ソプラノ)	准 教 授	初鹿野 剛 (バリトン)	
鍵盤楽器	教 授	松本 総一郎 (ピアノ) ◎	教 授	熊谷 恵美子 (ピアノ)	
	教 授	北住 淳 (ピアノ)	教 授	掛谷 勇三 (ピアノ)	
	准 教 授	内本 久美 (ピアノ)	准 教 授	鈴木 謙一郎 (ピアノ)	
	准 教 授	中尾 純 (ピアノ)			
弦楽器	教 授	福本 泰之 (ヴァイオリン)	教 授	花崎 薫 (チェロ)	
	教 授	白石 禮子 (ヴァイオリン)	教 授	桐山 建志 (ヴァイオリン)	
	准 教 授	渡邊 玲雄 (コントラバス)			
管楽器	教 授	倉田 寛 (トロンボーン)	准 教 授	橋本 岳人 (フルート)	
	准 教 授	トン・ブルックス・ノブオ (クラリネット)	准 教 授	井上 圭 (トランペット)	
打楽器	准 教 授	深町 浩司			
教養教育等	教 授	水野 留規 (原典研究・伊語)			
	准 教 授	井上 彩 (原典研究・英語)			
	准 教 授	大塚 直 (原典研究・独語)			

◎ … 平成31年3月退職予定

○ … 平成32年3月退職予定

非常勤講師

作曲

寺井 尚行 (特殊研究) 長江 和哉 (特殊研究) 北爪 道夫 (現代の音楽)
松宮 圭太 (特殊研究) ラッセ・レヒトネン (特殊研究)

音楽学

黄木 千寿子 (特殊研究) 七條 めぐみ (特殊研究) 野間 晴久 (アートマネジメント)

声楽

相可 佐代子 (声楽実技) 岡寄 智恵子 (声楽実技) 大槻 孝志 (声楽実技)
佐竹 由美 (声楽実技) 五月女 智恵 (声楽実技) 田島 茂代 (声楽実技)
日紫喜 恵美 (声楽実技) 馬原 裕子 (声楽実技) 三崎 今日子 (声楽実技)
三輪 陽子 (声楽実技) 渡部 純子 (声楽実技) 飯塚 励生 (オペラ総合演習)
石山 英明 (オペラ総合演習、重唱) 山本 敦子 (オペラ総合演習) 矢澤 定明 (オペラ総合演習、重唱)

鍵盤楽器

伊藤 隆之 (ピアノ実技) 海老原 優里 (ピアノ実技) 奥村 理恵 (ピアノ実技)
川井 綾子 (ピアノ実技) 小坂 圭太 (ピアノ実技、室内楽) 榊原 涼子 (ピアノ実技)
進藤 郁子 (ピアノ実技) 高橋 孝輔 (ピアノ実技) 田中 ゆりあ (ピアノ実技)
田村 明子 (ピアノ実技) 鶴見 彩 (ピアノ実技) 戸崎 由香 (ピアノ実技)
中畑 淳 (ピアノ実技) 永岡 信幸 (ピアノ実技) 西井 葉子 (ピアノ実技)
西川 秀人 (ピアノ実技) 西山 郁子 (ピアノ実技) 廣瀬 啓子 (ピアノ実技)
松川 儒 (ピアノ実技) 宮代 尚子 (ピアノ実技) 宮本 いずみ (ピアノ実技)
安井 直子 (チェンバロ実技) 吉田 恵 (オルガン実技)

弦楽器

植村 太郎 (ヴァイオリン実技) 日比 浩一 (ヴァイオリン実技) 沼田 園子 (ヴァイオリン実技)
百武 由紀 (ヴィオラ実技) 野村 友紀 (チェロ実技、オーケストラ) 木村 茉莉 (ハープ実技)
平光 真彌 (オーケストラ) 石橋 直子 (オーケストラ)

管楽器

岡 北斗 (オーボエ実技) 青谷 良明 (バスーン実技) 田中 靖人 (サクソフォーン実技)
野々口 義典 (ホルン実技) 西條 貴人 (ホルン実技) 笠野 望 (バストロンボーン実技)
露木 薫 (ユーフォニアム実技) 荻野 晋 (チューバ実技) 矢澤 定明 (管楽合奏)
杉木 峯夫 (室内楽) ボルシヨス・ロバート (室内楽) シャシコフ・ゲオルギ (室内楽)

打楽器

小森 邦彦 (マリンバ実技) **オーケストラ** 小森 康弘 (オーケストラ) **教養教育等** ロムアルド・バローネ (特殊研究)
太田 弦 (オーケストラ) 角田 延之 (原典研究・仏語)

■実技試験内容及び課題曲

I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を平成30年9月21日（金）から10月5日（金）の間に入試課へ提出してください。

- (1) 郵送の場合は、書留郵便（簡易書留可）により平成30年9月21日（金）から10月5日（金）の最終日午後5時必着とします。ただし、10月5日（金）午後5時以降に到着したものは、10月4日（木）までの消印があり、かつ、書留（簡易書留可）速達郵便に限り受理します。なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻作曲領域提出作品」と朱書してください。
- (2) 直接提出する場合は、午前10時から午後5時までとします。（ただし、土・日曜日、祝日等、大学が休業となる日は受け付けません。）

II. 音楽学領域の研究計画書

音楽学領域の志望者は4,000字程度の研究計画を所定の様式で、平成30年9月21日（金）から10月5日（金）の間に入試課へ提出してください。

- (1) 郵送の場合は、書留郵便（簡易書留可）により平成30年9月21日（金）から10月5日（金）の最終日午後5時必着とします。ただし、10月5日（金）午後5時以降に到着したものは、10月4日（木）までの消印があり、かつ、書留（簡易書留可）速達郵便に限り受理します。なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻音楽学領域研究計画書」と朱書してください。
- (2) 直接提出する場合は、午前10時から午後5時までとします。（ただし、土・日曜日、祝日等、大学が休業となる日は受け付けません。）

III. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成する10分以上15分以内のプログラムを、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が10分未満の場合は失格とします。

- * アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。
- * アリアは、オペラ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。
- * 演奏はすべて暗譜でおこなってください。
- * 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
- * 曲目は当日指定する場合があります。

- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。

IV. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

下記のa) b) c) を必ず含むピアノ独奏作品による40分以上のプログラムを用意してください。

- a) バロック時代の任意の作品
- b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethovenに限る）の任意の作品
- c) ロマン派以降の任意の作品

※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。

演奏曲目・演奏箇所を実技試験当日に指定します。

※ a) b) c) はそれぞれ複数曲の選択も可。

※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合があります。

V. 弦楽器領域実技

○ヴァイオリン

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005
より任意の1曲の Fuga。 原典版の使用が望ましい
- (2) 次のグループ(a)～(g)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61
- (b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47
- (g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007～1011 より任意の Prélude を1曲。
使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲の第1楽章。伴奏者を同伴してください。
- (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
- (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher” 使用版は自由
- (c) B. Bartók: Konzert (遺作) 使用版は自由

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1
- (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
- (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
- (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) Hans Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
よりプレリユード 使用版は自由
- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
Serge Koussevitzky: Konzert fis-moll
Giovanni Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。 使用版は自由

- (1) J. Parry: Sonate D-dur
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管楽器領域実技

(1) 課題曲

すべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

受験曲目については、フルート、トロンボーン、バストロンボーンの曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

(2) 初見演奏

○フルート

(1)(2)共に暗譜の必要はありません。 使用版は自由

(1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G Major K. 313 全楽章

(b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D Major K. 314 全楽章

・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。

・演奏箇所は当日指定します。

(2) 自由曲（無伴奏曲も可）

・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。

・7分以上12分以内で演奏すること。カットして演奏することも可。

○オーボエ

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

(1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 全楽章<カデンツァ付き>

(2) B. Britten: Six Metamorphoses after Ovid Op. 49

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622
第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。
- (2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○バスーン (ファゴット)

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3
1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto
- (2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Ibert: Concertino da camera 全楽章 Leduc 版

○ホルン

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 Es-dur K. 495 <カデンツァなし>
- (2) P. Hindemith: Sonate für Horn F-dur

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Henri TOMASI: CONCERTO pour Trompette et Orchestre Leduc 版

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concertino in E \flat , Op. 4 より第1、2楽章 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。
 - (a) M. Arnold: Fantasy for Trombone Op. 101 使用版は自由
 - (b) Enrique Crespo: Improvisation Nr. 1 für Posaune Solo 使用版は自由
 - (c) V. Persichetti: Parable for Solo Trombone 使用版は自由

○バスロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concerto (Concertino) in B \flat for Bass Trombone より第1、2楽章 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。
 - (a) J. Naulais: Monologue 使用版は自由
 - (b) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 in C minor BWV1011 より Sarabande 使用版は自由
 - (c) F. Hidas: Meditation 使用版は自由

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. S. Bach: Sonate en Trio No. 1 BWV525 より第1楽章 Gerard Billaudot 版
- (2) J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章 Novello 版

○チューバ

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) E. Bozza: Concertino pour tuba en ut ou saxhorn basse en si bémol et orchestre ou piano
(ソロパートはチューバ用を使用してください。) Leduc 版
- (2) J. S. Bach: Suite für Violoncello solo Nr. 1 BWV1007 より Courante, Menuett I - II
原調で演奏してください。 使用版は自由

Ⅶ. 打楽器領域実技

以下の **A 課題** または **B 課題** のどちらかを選択してください。

※**A 課題** を選択した場合は、受験者写真票及び受験票「志望領域」欄に「打楽器 (A)」と、**B 課題** を選択した場合は「打楽器 (B)」と記載してください。

A 課題 以下の(1)または(2)と、(3)を演奏してください。

- (1)ティンパニによる楽曲 (12分程度、省略可)
- (2)セットアップを含む楽器編成による楽曲 (12分程度、省略可)
- (3)スネアドラムまたはティンパニによる初見視奏

- ・課題(1)または(2)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・ピアノ伴奏者が必要な場合は、同伴してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけます。入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器を記入してください。

B 課題 以下の(1)、(2)を演奏してください。

- (1)マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲 (省略不可)。暗譜で演奏してください。
(参考例) 向井耕平: Prelude and Allegro、A. Viñao: Khan Variations、
J. Schwantner: Velocities、R. R. Bennett: After Syrinx II
- (2)マリンバによる初見視奏

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のものを使用してください。(ヤマハ: YM-5100A)

■平成 30 年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

I. 西洋音楽史（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域）

1. オペラが、いつ頃、どこで、どのように誕生したか、述べてください。文字数の制限はありません。
2. ベートーヴェンの作風の変化について、下記のジャンルからひとつを選び、初期、中期、後期から1つずつ作品を挙げながら論じてください。文字数の制限はありません。
 - (1) ピアノソナタ
 - (2) 室内楽
 - (3) 交響曲
3. つぎの ① から ⑳ に当てはまる適切な語句を、解答欄に記してください。
 - ・(①) は、楽劇において、劇中の特定の人物やものごと、情感などと結びつけられた (②) という動機を用いた。
 - ・合奏群と独奏群が交互に現れる (③) は、バロック時代の代表的な器楽の様式である。
 - ・(④) は、文字どおりには「控えめな音楽」を意味する用語で、(⑤) 楽派の音楽にあてはまる。
 - ・(⑥) として知られるフランスの軽いオペラのかたちは、庶民の娯楽として 1710 年頃に始まった。
 - ・シェーンベルクと彼の二人の弟子 (⑦) と (⑧) は、シェーンベルクが考案した (⑨) という作曲法を用いた。
 - ・16 世紀初頭に、ペトルッチは (⑩) と呼ばれるイタリア語による有節歌曲を数多く出版した。
 - ・次の楽曲の作曲者名を答えてください。
 - トゥランガリラ交響曲 (⑪)
 - ピーター・グライムズ (⑫)
 - ボリス・ゴドゥノフ (⑬)
 - 女と愛と人生 (⑭)
 - 劇的交響曲《ロメオとジュリエット》(⑮)
 - ポッペアの戴冠 (⑯)
 - イポリトとアリシー (⑰)
 - 教皇マルチェルスのみサ (⑱)
 - 弦、打楽器、チェレスタのための音楽 (⑲)
 - フィデリオ (⑳)

II. 西洋音楽史（音楽学領域）

1. 次の A 群からひとつの国／地域を選び、B 群からひとつの時代を選び、その国／地域における、その時代の音楽について、代表的な作曲家と作品を挙げながら論じてください。選択した国／地域と時代は丸で囲んでください。

A 群：スペイン フランス イタリア ドイツ・オーストリア 北欧 東欧 ロシア

B 群：17 世紀 18 世紀 19 世紀 20 世紀

2. 古典派からロマン派にかけてのソナタ形式の発展について、3 つ以上の作品を挙げて論じてください。

3. 次の用語から 10 個を選んで、説明してください。

- ① イソリズム（アイソリズム）
- ② コラージュ
- ③ ミニマル・ミュージック
- ④ エートス論
- ⑤ 演奏会用序曲
- ⑥ オスティナート
- ⑦ オペラ・セミセリア
- ⑧ パロディ・ミサ曲
- ⑨ フィグーレンレーレ
- ⑩ ブフォン論争
- ⑪ フロットラ
- ⑫ プロラツィオ
- ⑬ ギャラント様式

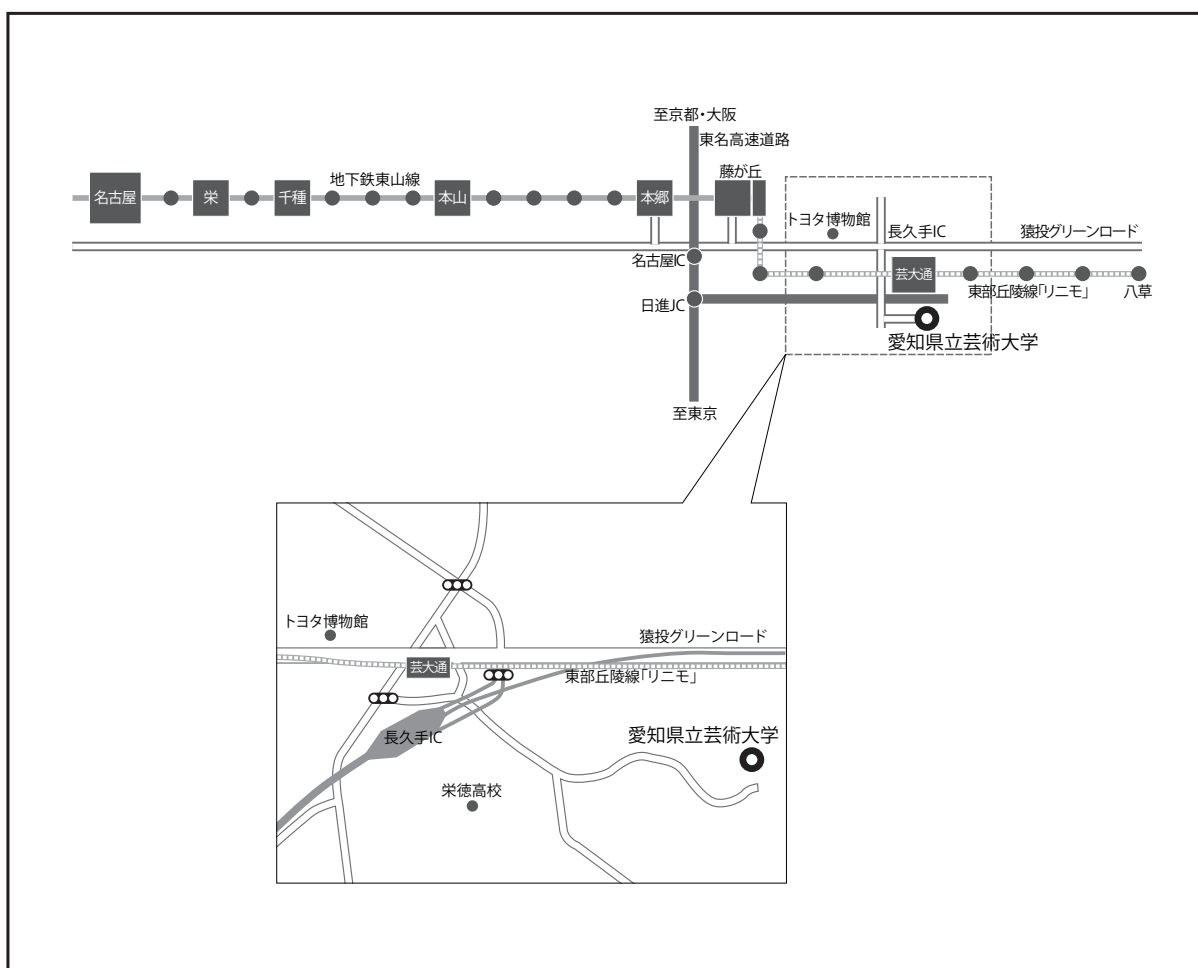
*いずれの問題も、文字数の制限はありません。

III. 外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域） 外国語〔英語・独語〕（音楽学領域）

外国語の試験問題は、本学管理棟 2 階入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前 9 時から午後 5 時まで）

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

愛知県立芸術大学



愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試課直通)

入試情報提供専用サイトURL <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>